

ガストロノミーツーリズムの推進

1 趣 旨

ガストロノミーツーリズムとは、国連世界観光機関（UNWTO：World Tourism Organization）によれば、「その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、その土地の食文化に触れることを目的としたツーリズム」と定義されている。

今後、アフターコロナの観光戦略として、本県で生産されている多彩で高品質な食材をベースに、本県を訪れて、静岡の美食と食文化を味わっていただく「ガストロノミーツーリズム」を推進していく。

2 本県のガストロノミーツーリズムの推進方針（案）

本県は、日本一高い富士山や日本一深い駿河湾をはじめとする多様な風土に恵まれ、多彩で高品質な農林水産物を生産しており、生産される農林水産物の数は全国トップクラスを誇る。こうした地域資源を活用してSDGsに資するサービスに昇華し、地域特有の食とともに、その背景にある文化、歴史、自然環境などを味わう「ガストロノミーツーリズム」を推進する。

このため、中核的な人材の育成や、認証制度による生産者や料理人の質の確保、食を目当てに観光客が訪れる街づくり、ガストロノミーツーリズムコーディネーターによる相談対応、トップシェフによるストーリー発信などに取り組んでいく。

※ 次期静岡県観光基本計画（案） パブリックコメント実施中（令和4年1月14日まで）

3 具体的な事例（食文化と日本平観光のコラボツアー）

「日本平 芸と食と絶景と 実行委員会」（FDA、日本平ホテル、JTB、静鉄リテイリング、静鉄バス、静鉄タクシー、SPACなどで構成）は、日本平の地域資源であるSPACの拠点「舞台芸術公園」、食文化、景観を組み合わせたステージパフォーマンス、マルシェのほか、日本平を楽しむバスツアーを開催した。

- ① 舞台芸術公園で、ステージパフォーマンス
 - ・ SPACによる食に関する演劇の上演
 - ・ 「手打ち蕎麦たがた」田形治氏の蕎麦打ちパフォーマンス（写真）
- ② 日本平山頂で、マルシェや特別イベント
 - ・ 日本平周辺の採れたて野菜だけを集めたマルシェの開催
 - ・ オクシズを守る木育プロジェクト
 - ・ 日本平山頂からの絶景スポットを撮影しながら巡るフォトロゲイニング
- ③ 日本平周遊観光バスツアー
 - ・ 舞台芸術公園 園内ツアー、野外公演観覧（上記①）
 - ・ 昼食（カジュアルランチまたは日本平ホテル限定ランチ）
 - ・ 日本平ロープウェイ経由で久能山東照宮参拝
 - ・ いちご農園で久能山のいちごスイーツを堪能

